

第2回周南市地域とともにある学校づくり推進協議会 会議要旨

開催日時：令和5年2月28日（火）18：30～20：00

開催場所：周南市徳山保健センター1F 健診ホール

主催者：周南市教育委員会 学校教育課

参加者：周南公立大学地域共創センター長、小・中学校長会長、学校運営協議会会長、地域学校協働活動推進員、周南市役所関係各課担当者

1 開会行事

主催者あいさつ（周南市教育委員会学校教育課長）

～課長挨拶～

周南市地域とともにある学校づくり推進協議会長あいさつ

～周南公立大学 地域共創センター センター長 立部文崇 様～

2 学校教育課所管説明

（1）今年度の取組

- ・各種研修会の様子について
- ・学校運営協議会の様子について
- ・行政との連携について

（2）コミュニティ・スクールに関するアンケート調査結果

- ・児童生徒（小6、中3）の回答結果
- ・学校運営協議会会長及び地域学校協働活動推進員の回答結果
- ・地域連携担当教職員の回答結果

（3）来年度の取組

- ・研修会内容のブラッシュアップ
- ・学校・地域連携カリキュラムの効果的活用の推進
- ・設置要綱の改訂について

第3条（6）コミュニティ・スクールアドバイザー1人 →削除

第3条2（4）和田中学校区 →削除

第3条に「教頭2人（小学校1人、中学校1人）」

「教職員2人（小学校1人、中学校1人）」 →加筆

→現状に沿った協議を行うため、上記内容について提案し、協議会ではかったが特に意見はなかった。

3 グループ協議・発表

①「地域とともにある学校づくり推進・充実に向けてそれぞれの立場における取組や関わり方等の成果と課題について」

- ・連携上の課題の見える化を図ることが大切。
- ・それぞれの立場の考えを知ったうえで関わり合う。

- ・大人が考える仕組みではなく、子どもたちの夢を叶える仕組みづくりが必要。

②「来年度、必要な取組や視点、方向性等について」

- ・子どもが学校運営協議会に参加することの継続・充実が大切。一部の子どもになるかもしれないが、火種づくりが必要。
- ・子どもの夢を実現（うまくいこうがいかまいが）する学校運営協議会になれないか。
- ・地域とPTAの接点を探りたい。
- ・保護者も地域の一員であるという意識の醸成。
- ・地域連携教育の活用事例、活用状況を庁内で共有できるとよい。
- ・市民センター主事と学校の交流、情報交換ができるとよい。
- ・行政のやっていることを知ってもらうだけでなく、子どもたちと一緒に取り組んだことが後につながっていく。子どもから成果が見えるような内容としたい。
- ・しゅうなん出前トークの活用充実。行政と学校で事前に打ち合わせを行い活用度を高めたい。

4 講評：地域連携教育エキスパート 木本 育夫 様

- ・学校の困り感や弱みをしっかりと地域に伝えるとよい
- ・学校が多忙な時ほど、地域連携教育が必要となる
- ・これまでの地域連携の在り方ではなく、新たな視点で取り組みを考えることが必要

5 閉会行事

～周南市地域とともにある学校づくり推進協議会長あいさつ～